

## 秋の大収穫祭

11月28日(土) 総合活動センターで、恒例となった『秋の大収穫祭』を開催しました。このイベントは、地域の皆様への感謝の気持ちを込めて、また、地域の皆様との交流の場となるように、小谷地区社会福祉協議会との共催で毎年実施しています。

小谷地区社協の方々、炊き込みご飯や、大根やみかん、柿などの新鮮野菜に旬の果物、柏餅、豚汁に甘酒等の販売をされ大盛況でした。そして、和太鼓グループ「響華」さんによるパフォーマンス。和太鼓の迫力に圧倒され、会場は大いに盛り上がりました。ポップスグループ「サウンドメイツ」さんによる「ポップスコンサート」では、アニメソングから懐メロまで思わず口ずさんでしまう選曲で、会場には歓声と笑顔があふれていました。

会場に一体感が生まれた「大収穫祭」。これからも皆様と力を合わせて、元気な地域づくりのために取り組んでいきたいと思っております。ご協力、ご来場をいただいた皆様、本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いいたします。



支援員 藤井 郡

ひろしま S-1 サミット2015本選出場!!  
『ぱん粉 de えごまぼー』

11月23日(祝) カーブ感謝祭が行われたこの日、マツダスタジアム内でひろしまS-1サミットが開催されました。S-1サミットとは、広島県内の施設で作られたスイーツの選手権です。

あおぞらぱん屋さんは、スナック部門に参加し、当店大人気の絹生食パンのぱん粉と東広島市福富町産のえごまを使用した『ぱん粉 de えごまぼー』を出品しました。地産地消とぱん屋さんならではの食材がアイディアになりました。

600人以上の方に食べていただき、あおぞらぱん屋さんのことや東広島市の特産であるえごまについてPRすることができました。カリッカリで健康的なスナック『ぱん粉 de えごまぼー』をこれから店頭でも販売していく予定です。ご期待ください。

あおぞらぱん屋さん 武田 洋美

## あおぞらぱん屋



## 「いらっしゃいませ」!



## 新店長紹介

新しくあおぞらぱん屋さんの店長に就任しました内田亘です。西の池学園で7年間、デイセンターこだま6年間、利用者の方と一緒に過ごしてきました。この度、今までとは違う就労支援の現場での仕事となり、不安とワクワク感でいっぱいです。利用者の方が「働く楽しみ」を見つけられるように、共に成長していけたらと思っています。

来店されるお客様から、「あおぞらぱん屋さんの食パンを毎日食べています」や、「ラスク美味しいね」といった声をかけて頂く度に、思わず笑顔がこぼれてしまいます。これからもお客様にも愛され、選ばれるお店を目指し、常に美味しいパンを追及していきます。“あおぞらぱん屋さん”をよろしくお願いいたします。

※誌面の写真、名前については、ご本人の同意を得て掲載しています。

## 「祭」西の池学園「やたいまつり」

10月6日、西の池学園で利用者の自治会による行事「やたいまつり」が開催されました。屋台は、焼きそば、アメリカンドック、はしまぎ、ハリケーンポテトなど、盛りだくさんのメニューでした。

このメニューや、役割分担などについて、自治会役員が中心となって準備をしました。職員は助言という立場で参加しているため、絵カードによって屋台のメニューの選択肢を示したり、物品の注文を代行するなど、援助は最小限にしています。

当日は役員以外の利用者の方も準備や飾りつけに参加し、「あれは私が作ったんだよ」と誇らしげに話される方や、「一生懸命に頑張る」「みんなが笑顔になれるように」などの意気込みを語ってくれる方もおられました。そういった声を聞くたびに、自分たちの力で行事を行うという達成感、自分たちが役割を持って仕事をすることの大切さを痛感させられます。利用者のやりたいことをすべて達成することは難しいのが現状ですが、少しでも利用者が主体となる行事を増やしていきたい・生きがいになればと思います。



・まつりを仕切った役員のみなさんで記念撮影

## 「訪問研修」に参加しました

平成会では、職員の希望によって他の法人施設への「訪問研修」を行っています。

今年度も、「発達障害児の支援」「高齢者支援」「就労支援」「地域移行」など、先駆的な取り組みをしている施設を訪問し、見学をさせて頂いています。

今回、グループホームでは職員7名が、福山にあるゼノ少年牧場のホームの見学をさせて頂きました。

早出、遅出、夜勤などで、24時間職員が常駐していること、家庭的な温かい雰囲気の中で生活されていること、高齢者の「看取り」の対応もできるような検討されていること、等々、勉強になることばかりでした。

平成会のグループホームにおいても、夜間の支援体制の強化をはじめとして、介護保険サービスの併用、成年後見制度の利用促進など、今後更に、障がいのある方や高齢の方が安心して生活できるように、環境づくりを進めていく必要性を実感しました。

今回の研修で得たことを参考にして、利用者の気持ちを汲みとりながら一緒に考えていきたいと思っています。

## 西の池学園グループホーム

## 「訪問研修」に参加しました

平成会では、職員の希望によって他の法人施設への「訪問研修」を行っています。

今年度も、「発達障害児の支援」「高齢者支援」「就労支援」「地域移行」など、先駆的な取り組みをしている施設を訪問し、見学をさせて頂いています。

今回、グループホームでは職員7名が、福山にあるゼノ少年牧場のホームの見学をさせて頂きました。

早出、遅出、夜勤などで、24時間職員が常駐していること、家庭的な温かい雰囲気の中で生活されていること、高齢者の「看取り」の対応もできるような検討されていること、等々、勉強になることばかりでした。

平成会のグループホームにおいても、夜間の支援体制の強化をはじめとして、介護保険サービスの併用、成年後見制度の利用促進など、今後更に、障がいのある方や高齢の方が安心して生活できるように、環境づくりを進めていく必要性を実感しました。

今回の研修で得たことを参考にして、利用者の気持ちを汲みとりながら一緒に考えていきたいと思っています。



・みんなすくすく大きくなってね!

## 育児休業制度を利用して

平成会では、ここ1年で育児休業の制度を利用して1年後に復帰するという職員が7名。中でも西の池学園では、昨年の6月から8月にかけて、3名の職員の出産がありました。

ひと昔前では、女性は結婚・出産を機に会社を辞め、家事と育児に専念する人が多かったように思います。しかし、事業所とすれば現場での経験を積み専門的スキルを身につけた職員に辞められることは大きな痛手となります。育児休業から再び職場に復帰してもらえることは、大きなメリットです。現在1年後には職場復帰してもらえる確約があるので、彼女たちの休業の間を残った職員でカバーしながら、がんばっているところです。

彼女たちにとって育児と仕事を両立していく大変さを分かちあえる仲間がひとりでも多いほうが、心強いはず。これからも、若い職員が結婚・出産後もずっと長く勤めていいたいと思える魅力ある事業所であり続けたいと思います。

## 西の池学園 主任支援員 野村ゆかり

西の池学園 支援員

犬飼 淳史

西の池学園グループホーム 支援員

清田 里美